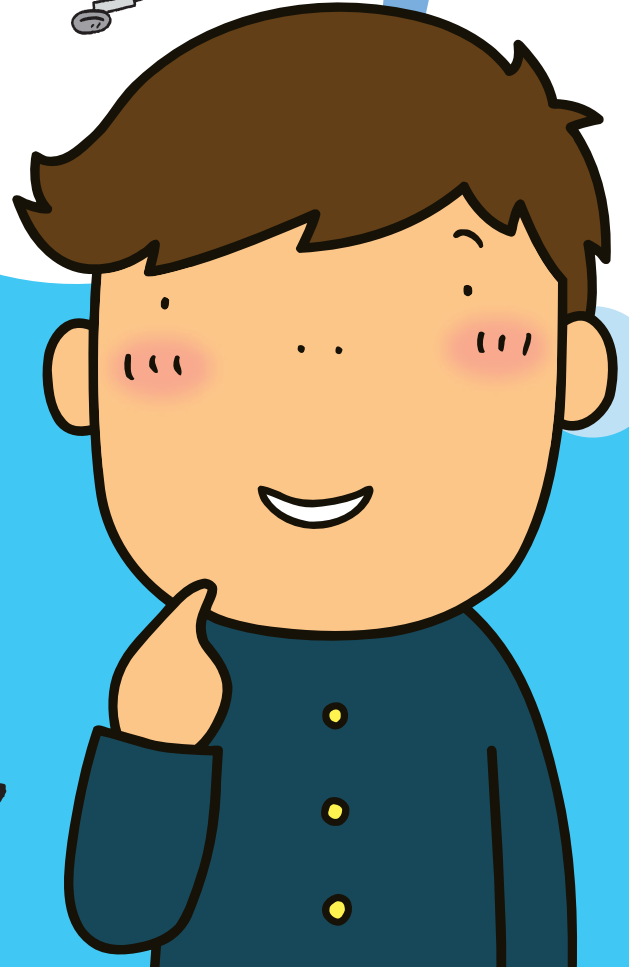
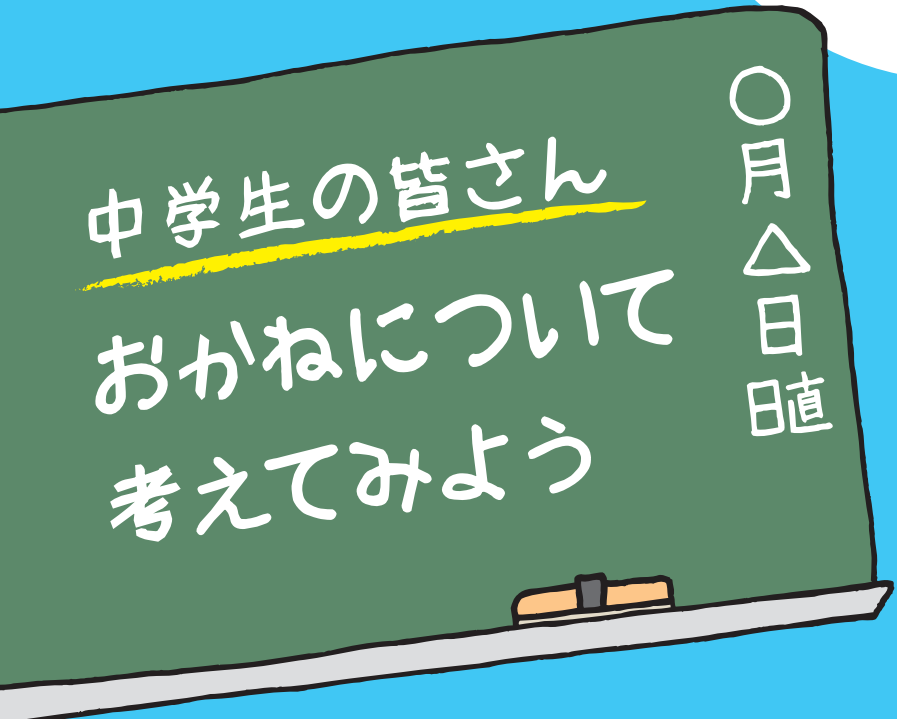


第44回

おかねの作文コンクール



締切
9/20
※消印有効



金融広報中央委員会は、全国の中学生を対象に「おかねの作文」に関して作文を募集します。みなさんの見たこと、聞いたこと、感じたことをもとに「おかねの作文」にチャレンジしよう！

特選 5編(賞状と図書カード4万円分)

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 日本PTA全国協議会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞

秀作 5編(賞状と図書カード2万円分)

■佳作50編(賞状と図書カード2千円分) ■学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

第44回 おがねの作文コンクール

お金やモノを、大切にしていますか？

私たちの身の回りには、様々な物やサービスがあふれ、生活は大変豊かになりました。いま、「お金」の役割を理解し、金融や経済の仕組みを知り、適切な判断と行動ができる消費者になることが求められています。金融広報中央委員会は、身近な金融や経済に関わる作文を募集しています。昨年は、全国から約4,700点の応募が寄せられ、60点が入賞作品に選ばれました。日常生活での「見たこと」「聞いたこと」「感じたこと」をもとに、あなたの意見をまとめてご応募ください。



第43回 受賞作品発表 (2010)

金融担当大臣賞

私のルール・わが家の約束事

和歌山県 和歌山県立桐蔭中学校 1年
平井 未来さん

作品内容 毎月1万円のお小遣いで、友だちと遊ぶ費用や携帯電話代、文房具から洋服まで、自分のものをすべてまかなうのが「わが家の約束事」。携帯電話の使いすぎに気をつけ、計画的に貯金をするなど工夫している様子が書かれている。金銭感覚を育てたいという親の意図を理解し、「本当に必要かどうか検討し、ものの価値を見極めてからお金を使う」と、自分なりのルールを設けるなど、消費者としてのしっかりした心構えを感じさせる点が高く評価された。

入賞者の声 私の作文が、こんな大きな賞をいただけて、本当にうれしいです。作文を書くことで、改めて「おこづかい」の使い道について、考え直すことができました。計画的にお金を使える大人になりたいです。

文部科学大臣賞

お金を「もらう」ということ

京都府 京都府立洛北高等学校附属中学校 3年
市川 葵さん

作品内容 祖父母の家で掃除を手伝い、お駄賃で100円をもらったという体験から、お金の価値や労働の対価について思いを巡らせた。「ファストフードを食べたり、募金をして何人もの命を救ったりすることができる」と、100円の価値を考えるなかで、「お金は一生懸命働いたことの証明で、金額とはまた違った価値がある」、これからは「お金をもっと大切にしたい」、大人になって「お金を『もらう』ために人一倍努力したい」と述べている。日常の経験をきっかけに「お金」についてさまざまな角度から考察した点が高い評価を得た。

入賞者の声 普段なら気にしない、たまたまもらった百円に目をとめてみると、自分でも驚くほどお金について考えさせられました。身近なもののおりがために気づかされました。大きな賞を頂けて光栄です。ありがとうございました。

日本銀行総裁賞

カナダで考えたお金のこと

千葉県 市川中学校 3年
石村 瑞季さん

作品内容 カナダでの語学研修で、洗車の仕事をして集めたお金を施設に寄付した体験から、お金の価値に関する考えを述べた。働いてお金を稼ぐのは初めての経験で、集まった255ドルが金額以上に重いものに思えた。現地では、日本円の海外での価値が、為替レートに左右されることも実感した。お金の大切さへの気づきから、「使う人の立場や考え方によってお金の価値は変わる」とした視野の広さと、実体験に基づいた明快な論旨の展開が高く評価された。

入賞者の声 今までは単なるツールでしかなかったお金も、カナダでの体験を通して、環境や立場の違いでその価値や意義が全く違ってくると実感しました。この受賞を励みに、上手にお金と付き合える人に成長していきたいです。

日本PTA 全国協議会会長賞

街の笑顔と未来を売る商店街

鹿児島県 鹿児島市立鹿児島玉龍中学校 2年
木田 夕菜さん

作品内容 中学生が模擬店で売り上げを競う「あきんど選手権」を支援する商店街を訪れた経験を述べた。保育施設や地域の様々な情報を発信する場も備えた商店街は多くの人でにぎわい、「地域のコミュニティスペース」として機能していることに気づき、「ここで売っているのは、品物だけではなく、「街に響く歓声や多くの人々の笑顔、そして街の未来なのだ」とまとめている。地域社会と経済の関わりを暖かい視点で捉え、高い評価を得た。

入賞者の声 全国で既存の商店街がさびれ、元気をなくしています。でも、私を感じた街のにおいがする商店街は、今も活気を保っています。受賞をはげみに、私も自分の街をもっと好きに、もっと街づくりに参画したいと思えます。

金融広報 中央委員会会長賞

夢を実現するために

徳島県 徳島市立南部中学校 2年
林 正基さん

作品内容 父が役員を務める会社が倒産し、生活が急変するという現実に直面した筆者が、家計を維持するために懸命に働き、節約に励む両親の姿に感動しつつ、将来の夢と「お金」との関係を実際に検討した過程を記した。家計や債務問題に深く考えが及んでいることや、「自分の置かれた状況を冷静に受け入れ、限られた費用の中で夢を実現するために自分にできる精一杯の努力を続けていこう」と、自らの生き方を正面から見つめた点で支持を集めた。

入賞者の声 両親の働く姿や頑張りに見て、お金の大切さを知り、自分の将来を考えました。そうするうちに進むべき道が見えてきました。これからも努力を続け、研鑽を積み、立派なエンジニアを目指したいと思っています。

秀作

「お金に込められた愛情」
福岡県 明治学園中学校 2年 渡邊 倫子さん

「お金はかわいいものか」
愛知県 一宮市立尾西第二中学校 3年 飛田 野どかさん

「お金が教えてくれたこと」
滋賀県 守山市立守山北中学校 3年 朝尾 朱貴さん

「『見えないお金』の重み」
京都府 京都府立洛北高等学校附属中学校 3年 小松 万希子さん

「新しいお金の使い方」
大阪府 聖母女学院中学校 3年 國枝 美希さん

学校賞


和歌山県 和歌山県立桐蔭中学校
京都府 京都府立洛北高等学校附属中学校
千葉県 市川中学校
鹿児島県 鹿児島市立鹿児島玉龍中学校
徳島県 徳島市立南部中学校

第43回審査員(敬称略)
岩男篤(金融庁総務企画局政策課金融知識普及係長) 永井克昇(文部科学省初等中等教育局視学官)
相川敬(社団法人日本PTA全国協議会会長) 茅原直樹(全日本中学校国語教育研究協議会総務部長)
國光幸人(日本銀行情報サービス局金融広報課長) 水口毅(金融広報中央委員会事務局次長)


2011年テーマ

テーマを参考にして、作文の内容に合わせたタイトルを付けてご応募ください。


1. 活かしたおカネの使い方とは

 おカネを使うと、持っているおカネは減りますが、一方で得られる満足があります。おカネの使い方は、その人の価値観やものの考え方を表わしますし、多少なりとも世の中に影響を与える面を持ちます。買い物や貯金などについての、自分自身の体験や、周囲の人のおカネのじょうずな使い方について書いてみましょう。


2. 地域(経済)を元気にする取り組み

 あなたが住んでいる地域の経済についてあなたが注目する取り組みはありますか。最近話題になったり、ニュースで報道されたりしたことのうち、あなたが応援してみたい、あるいは興味のある活動はありますか。地域経済を「元気に」している具体的な例や、地域を応援するためのあなたのアイデアを理由とともに述べてください。


3. 私のおカネのルールやわが家の約束事とは

 あなた自身やあなたの家族で決めているおカネについてのルールはありますか。商品を買うときに気をつけていることなど、消費者として行動の基準としている点はどのような点ですか。お小遣いや携帯電話などに関わるルールや約束事をまとめてみましょう。

4. 将来の夢の実現とおカネの関わり

 あなたの将来の夢や、やってみたい仕事は何ですか。また、会社をつくるとしたら、どんな会社をつくりたいですか？あなたの思い描く未来を実現するために、どのようなことを心がけ、準備していったらよいでしょうか。あなたの「将来設計」を、おカネとの関わり方を含めてまとめてみましょう。

5. 自由テーマ

 上記以外のテーマで、ニュースで見たり授業で学んだことをきっかけに、私たちのくらしやおカネについて考えたことをまとめてみましょう。

第44回「おカネの作文」コンクール 募集要項

[応募資格] 中学生

- [賞]
- 特選 5編(賞状と図書カード4万円分)
金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 日本PTA全国協議会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞
 - 秀作 5編(賞状と図書カード2万円分)
 - 佳作 50編(賞状と図書カード2千円分)
 - 学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

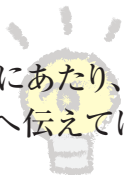
[締め切り] 平成23年9月20日(火) ※消印有効

[発表] 12月上旬、金融広報中央委員会HP (www.shiruporuto.jp) などで発表。

[送付先] 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス3F 金融広報中央委員会コンクール事務局
第44回「おカネの作文」コンクール係

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL. 03-6826-8779(土・日・祝日を除く10時~17時)
同 ホームページ www.shiruporuto.jp

作文指導にあたり、先生方から、生徒たちへ伝えてほしいこと。



金融教育は、現実の社会の中で生きていくのに必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身につけることなどを目的としています。この金融教育は「生活設計・家計管理」「経済や金融のしくみ」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」の4つの分野に分けて整理することができ、「生きる力」の育成にもつながります。生徒たちへ、作文を書くにあたっては、それぞれのテーマに設定されているヒントを参考に、自分の将来や身の回りのお金に目を向け、考えたことを書くようご指導ください。

金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、健全で合理的な家計運営のために、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、中立・公正な立場からの正確でわかりやすい「金融経済情報の提供」と一人ひとりが賢い消費者として自立するための「金融経済学習の支援」を積極的に展開しています。

応募の際の注意点

●文字量について：空白を含む1,600～2,000字

原稿用紙の場合	400字詰原稿用紙 5枚 ※タテ20字×ヨコ20行	パソコン原稿の場合	1行20字詰め×80～100行以内
---------	---------------------------	-----------	-------------------

●応募について

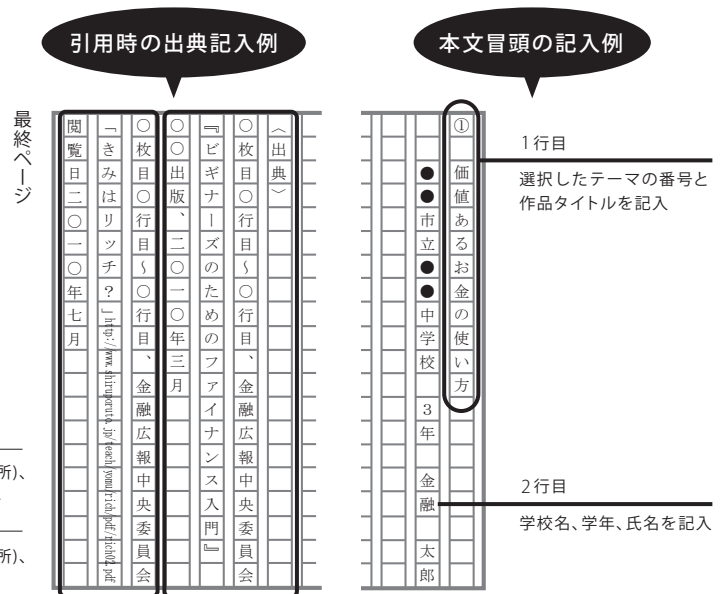
個人で応募する場合	<ul style="list-style-type: none"> 下記応募用紙に記入してください(応募用紙はコピー可能です)。 選択テーマの番号、作品タイトル、学校名(ふりがな)、氏名(ふりがな)、学年、学校および自宅の住所・電話番号を記入して作品に添付してください(応募用紙は必ず本人が記入してください)。
学校単位で応募する場合	<ul style="list-style-type: none"> 学校宛てにお送りしています「学校専用応募用紙」にてご応募ください(学校専用応募用紙はホームページ(www.shiruporuto.jp)からダウンロードしていただくことも可能です)。 下記応募用紙は不要です。

※作品は未発表で日本語に限ります。 ※作品は理由を問わず返却いたしません。 ※入賞作品の著作権・版権は主催者に帰属します。 ※佳作の作品は公表いたしません。

作文を書くにあたってのご注意

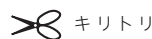
- 本文冒頭1行目に選択テーマの番号と作品タイトル、2行目に学校名、学年、氏名を記入してください。本文は3行目から始めてください。
- 規定文字数に達しない場合は審査の対象となりません。
※原稿用紙によらないパソコンの場合も同様です。
- 書籍、インターネット等からの文章やデータを引用する場合には、最終ページに必ず出典を記載してください。
- 右肩をホチキスで留めてください。

書籍の場合 _____
○枚目○行目(応募作品中該当箇所)、
著者名、『書籍名』、出版社、出版年
インターネットの場合 _____
○枚目○行目(応募作品中該当箇所)、
著者名、タイトル、URL、閲覧日



※応募の際は下記個人情報の取扱いについて保護者の方にもご確認いただいた上でご応募ください。

個人情報の取扱いについて	●応募者の個人情報は、入賞作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者ならびに当コンクール業務受託先が責任をもって管理いたします。●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合については、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・学校名・学年及び作品の一部は金融広報中央委員会ホームページ等にて公表させていただきますので、予めご了承ください。
--------------	---



第44回「おがねの作文」コンクール 応募用紙(個人)

選択テーマの番号	作品タイトル		
ふりがな お名前	ふりがな 学校名	学年	
学校住所 (〒 -) 都道府県	市区 郡	立	中学校 年
学校電話番号 ()	-		
自宅住所 (〒 -) 都道府県	市区 郡	※マンション・アパート名等も必ずご記入ください。	
自宅電話番号 ()	-		

お手数ですが右記のアンケートにご協力をお願いします。 ●このコンクールはどちらで知りましたか？番号を○で囲んでください。(複数回答可)
1.ポスター 2.チラシ 3.新聞や雑誌 4.ホームページ 5.知人から 6.学校 7.その他()

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用いたしません。